

2023年度用



グローバル地域ケアIPEプラス創生人材の育成プログラム
Global & Regional Interprofessional Education Plus Program

千葉大学 世界展開力強化事業 GRIP Program 学生用資料

看護学研究科附属 専門職連携教育研究センター
GRIP推進室



グローバル地域ケアIPEプラス創生人材の育成プログラム
Global & Regional Interprofessional Education Plus Program

第Ⅰ部 GRIPプログラム全体について

GRIPとは

“Global & Regional Interprofessional Education Plus Program”

グローバル地域ケアIPEプラス創生人材の育成プログラム



「すべての人に健康と福祉を」届けるための地域ケアを創生できる人材

医療、教育、医工学、行政など多領域および多国籍の人材が、
異文化感受性と専門性を基盤にオンラインとオフラインで学び合い、
国際的に活躍できる健康関連専門職としての能力を身に付ける。



GRIPの目的

地域ケアを創生する多職種の人材を育成することにより、SDGsの開発目標3「すべての人に健康と福祉を」の実現と、Universal Health Coverage「全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態」の推進を目指す。

どんな組織でも、どの国や地域でも、
専門性を発揮して社会的な健康課題の解決に寄与できる人材が増える



持続的な社会問題の解決

GRIPでの学習の流れ

③ メタバーズでの成果発表

発表内容例

- ・ 学習成果
- ・ 社会課題のシナリオ
- ・ 自国への移転可能性

② 海外演習

現地演習

災害対応 高齢者対応
健康資源 経済格差
次世代人材 QOL パンデミック
多様な課題に対応

バーチャル
ワークショップ
メタバーズで継続実施
IPEデジタルツイン実施
多様な方法で実施
オンライン継続

事前学習

専門職連携 文化学習
オンラインチーム
ビルディング
IV-Campusで実施

移管

政策提言

実践計画立案

改善実践計画提言

運営実施活動への参画

地域への参加施設活動参加

地域への参加施設見学・活動見学

地域住民と行政双方向の意見情報収集

地域住民と行政双方向の意見集約情報の分析

既存資料からの収集・分析のための情報の精査

12の学習到達目標

専門力連携実践能力

専門混在のチームワークでの課題解決

チーム学習とその成果の反映

各専門ごとの役割と責任の明確化

ニーズを伴うユーザーとの関係円滑化

コミュニケーションとリーダーシップ

倫理を伴う実践教育

地域のアセスメント評価

社会政策等の方策立案

地域課題の抽出

効果速的の評価計画立案

実践型課題の解決目標設定

地域における合意形成

社会課題解決能力

博士・修士・学士に応じた
到達スキル

現地演習のテーマ例

- ・ 被災者の健康生活支援
- ・ 医療資源へのアクセシビリティ
- ・ 認知症者とともに作る介護
- ・ パンデミックと文化
- ・ ホームレスネスと社会

① オンライン事前学習

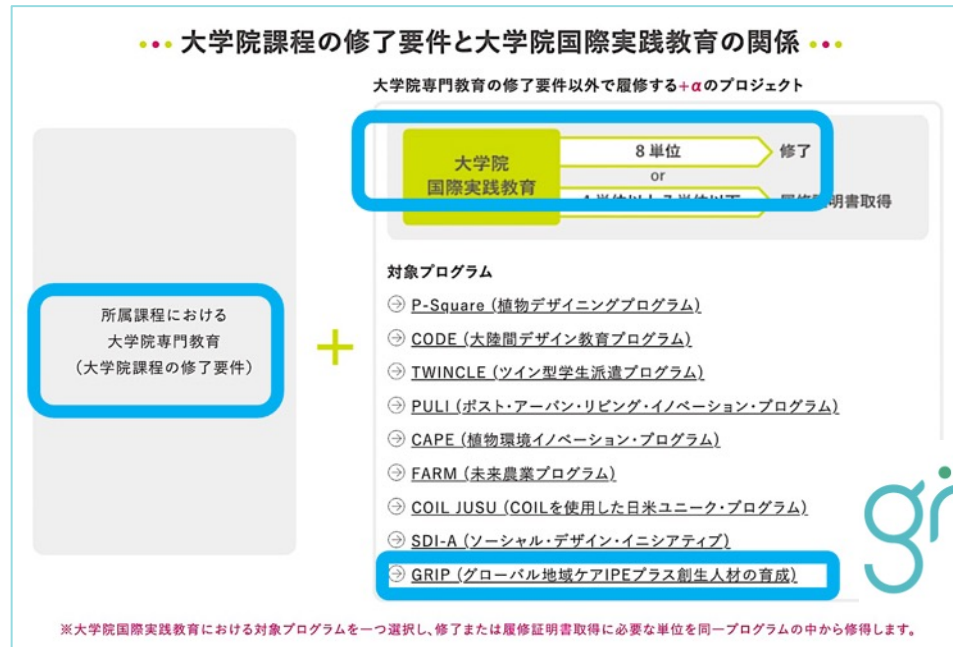
事前学習課題コンテンツ例

- ・ オンデマンド・IPE
- ・ オンライン・チームビルディング
- ・ オンデマンド・文化的対応能力
- ・ オンライン・ケースシナリオ学習

副専攻としての「大学院国際実践教育GRIP」

<https://global-education.chiba-u.jp/globalstudies/>

千葉大学独自のグローバルプログラム 「大学院国際実践教育」



大学院生は 2パターンの履修方法

副専攻として
大学院国際実践教育 (GRIP) 修了
(ENGINE単位も同時に取得)

1. 専門職連携
基礎

2. 専門職連携
実践 1

3. 専門職連携
実践 2

4. Cultural
Competency and
Cultural Humility

5. 社会課題解決
基礎

6. 社会課題解決
応用

A: 8単位すべて認定されると
博士前期課程副専攻
大学院国際実践教育 (GRIP) 修了の
履修証明書が得られる

7. 専門職間
社会課題解決演習
(ISL) 2単位

* 1～6はメディア授業、各1単位、2023年10月開講
* 履修順序は問わない (ISLが先でも後でも可)

1つの演習科目として
専門職間社会課題
解決演習
(ENGINE単位も同時に
取得)

7. 専門職間
社会課題解決演習
(ISL) 2単位

- ISLと他6科目計8単位 または ISLのみ2単位
- いずれもENGINE該当

ISL=Interprofessional Service Learning



第2部 今年度のスケジュールや費用等について

2023年度学習スケジュール

7月末 選考結果通知

12月～ 事前学習

- Google Classroomを利用したオンライン学習

(例)

チームビルディング
基礎知識の獲得(渡航国や
日本の社会課題, 専門職連
携, 異文化受容など)

2024年2月13日-23日
海外演習

- 現地調査
 ➡ 課題の発見
- 課題を抱える地域の視察
- 課題解決に取り組む組織の活動への参加
- 現地の専門家や学生とのディスカッション
 ➡ 課題解決に向けた
 総合的・創造的な
 アイデアの創出

3月1日-8日 受入れ
3月後半 成果発表

- インドとイギリスの日本での演習をサポート
- メタバースoViceを使用した成果発表会



メタバース空間のイメージ (oViceホームページより)

2023年度 ISLスケジュール

12月～ 事前学習開始

2月中旬～ 現地演習

3月中旬 成果発表

オンライン協同学習
(同期双方向+オンデマンド)

渡航先現地でも
協同の機会

オンライン協同学習
(同期双方向/成果発表会)

シンビオシス国
際大学(インド)



1
事前学習

2
現地演習

3
事後学習

千葉大学



1
事前学習

2
現地演習
2/13-2/23

インド/英国学生
受入
3/1~3/8

3
事後学習

レスター大学(英国)



1
事前学習

2
現地演習

3
事後学習

本年度募集する海外演習先①

※応募時に希望をとりますが希望に沿えない場合もあります

シンバイオシス国際大学

Symbiosis International university



- テーマは「貧困や障害等困難な状況下の子ども」
- 今年度の派遣学生は10名
- 学生数2万人以上の総合大学
- インド中西部の500万都市圏に位置
- 派遣予定の2月の最高気温は30℃前後



シンバイオシス国際大学ホームページギャラリーより(画像は2018年, コロナ禍以前のもの)

本年度募集する海外演習先② ※応募時に希望をとりますが希望に沿えない場合もあります

レスター大学

University of Leicester



- テーマは「ホームレス支援」
- 今年度の派遣人数は5名
- 100カ国から留学生や研究者を受け入れている国際的大学
- イギリス中部の都市レスターに位置, 人口は35万人程度
- 学生が貧困地域やホームレスシェルターを定期的に訪問し支援に携わるプログラムを長期に渡り実施している



レスター大学ホームページより



選考条件と費用

応募資格

- 千葉大学の学部2年生以上
- 全ての学部/研究科より募集
- 地域社会課題解決や多職種/国際協力に興味のある方

費用

自己負担 約8~12万円程度(予定)

【必要経費】

- 航空券代 **万円
- 宿泊費 **万円
- 滞在費(食事等) **万円

計 **万円

【大学からの補助】

- ENGINE 5万円(共通)
- JASSO 6万円(印) 8万円(英)
- GRIP 15万円(印) 20万円(英)

— 計 26万円(印) 33万円(英) = **万円

・上記は目安であり、派遣時の為替レートや選択する宿泊先等によって異なる

・ENGINEとJASSOの両方から補助を受けた場合。受給資格に満たない場合は支給されないため注意。

選考条件

- 英語力
学部生CEFR B1以上、院生B2以上
- 学業成績(GPA)
JASSO受給要件に合う学生を優先
- 学部・研究科
特定の学部には偏らないよう選考

2023年6月1日(木)ー7月13日(木)
Moodle[2023GRIP+Global Health and Nursing II(集中)]にて応募受付
(自己登録キー NO11452501)

社会課題解決や国際協力に興味をお持ちの学生さんをお待ちしています

